

## ◆地域活動

# 養殖魚類販促活動支援

水産業改良普及センター本部駐在 吉田聡

### 1. 目的

北部地域では伊平屋村、伊江村においてヤイトハタ養殖が、名護市においてはマダイ、タマン、スギの養殖が行われている。ヤイトハタについては、沖縄県ミーバイ生産者販売促進協議会が主体となり、各種イベントで試食・販売に取り組み、その販売は好調となっているが、それ以外の魚種については個人が取組に留まるとともに、販売先も限られることから、販売先のストック状況により荷動きの停滞がみられる。このため、生産者の所属する漁業協同組合と連携し、養殖魚類（ハマフェフキ）の販促支援を行うこととした。

### 2. 方法

平成27年1月31日、2月1日に開催された花と食のフェスティバルにおいて羽地漁協が行う養殖タマンの販促支援を行った。

提供するメニューについては名護市内の飲食店に協力を依頼し、6品ほどメニュー開発を行ってもらった。また、フェア当日は在庫を多く抱える平成25年度種苗（300g/尾）を用い、来場者が手軽に食べられるメニューとするため、タマンのサンドを提供することとした。

また、提供するタマンの下準備は本部漁協の全面協力により施設借用と人的支援を受け400食分を準備した。

### 3. 結果

花食1日目の午前中は全く売れず危機感を覚えたが、午後からは少しずつ客が増え80食ほど販売できた。2日目は昼前ぐらいから殺到し、一時的に購入待ちの列ができる程盛況

で、5時前までに完売することができた。

### 4. 考察

タマンそのものについては認知度が高かったが、養殖されていることについてはあまり知られていない様子であった。

販促を実施した羽地漁協は、これまでも北部産業祭り等の各種イベントに参加しているが、継続して販売できる商品を持ち合わせおらず、その都度、提供する水産物を検討してきている。

今回、フェスティバルで提供したタマンサンドについては、来場者からの評価も良く、生産者が在庫を抱えるときには、事前に購入して、処理、ストックも可能なため、今後、参加するイベント等では、可能な限り養殖魚が利用され、漁協と生産者が一体となって養殖魚の販促が行われることを期待したい。



魚類養殖場巡回の様子



タマンカツレツ



タマンチップス



タマンのホットサンド



タマン茶漬



タマンサンド



タマンのムニエル



タマンの下処理（本部漁協）



購入待ちのお客



タマンカツ（冷凍保存用）



タマンサンド



販促の様子



タマン串カツ

